

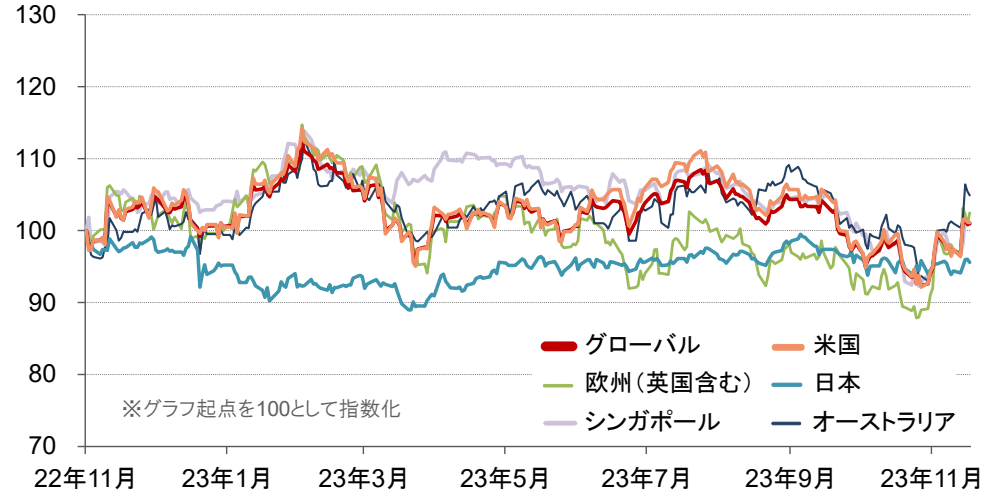
先週(11月13日~11月17日)のグローバルREIT市場の動き

先週のグローバルREIT市場は前週末比で+3.7%と、大きく上昇しました。米欧において、インフレ率の鈍化によって利上げ終了観測が高まるなか、長期金利が低下し、REIT価格を押し上げました。

- 米国REITは前週末比で大きく上昇しました。10月のCPI(消費者物価指数)は、前年同月比で予想を下回り、伸び率は鈍化しました。これを受けて、利上げ終了観測が一段と強まったほか、従来より早期での利下げ期待も見られ、長期金利の低下につながったことがREIT市場で好感されました。セクター別では、セルタワー(無線電波塔)やライフサイエンス(医療系研究拠点など)、個人向け倉庫などを中心に、多くのセクターで上昇しました。
- ユーロ圏および英国のREITは前週末比でいずれも大きく上昇しました。英国では、10月のCPIが前年同月比で予想以上に鈍化し、2021年10月以来の低い伸びとなりました。米国や英国でのCPI鈍化を手掛かりに、ECB(欧州中央銀行)も来年にかけて利下げに向かうとの期待が高まり、ドイツや英国などの長期金利が低下したことは、REIT市場で好感されました。

各国・地域のREIT価格の推移

●期間:2022年11月初~2023年11月17日 ※休場の場合は、直前の営業日のデータを使用



各国・地域別のREIT市場および為替の動き

●2023年11月17日時点(1週間前=11月10日、3ヵ月前=8月17日、6ヵ月前=5月17日、1年前=2022年11月17日、3年前=2020年11月17日) なお、休場の場合は、直前の営業日のデータを使用

| 国・地域 | 先週末 | 騰落率(%) | | | | |
|----------|----------|--------|------|-------|-------|-------|
| | | 週間 | 3ヵ月 | 6ヵ月 | 1年 | 3年 |
| グローバル | 621.27 | 3.7 | ▲0.7 | ▲0.7 | ▲0.5 | 6.8 |
| 米国 | 1,491.51 | 3.8 | ▲1.6 | ▲0.4 | ▲0.3 | 8.8 |
| カナダ | 1,160.81 | 1.8 | ▲5.9 | ▲9.5 | ▲8.6 | ▲0.5 |
| 欧州(ユーロ圏) | 514.87 | 3.9 | 4.3 | 3.9 | 0.3 | ▲5.4 |
| 英国 | 78.66 | 6.3 | 9.7 | 0.3 | ▲0.7 | ▲9.1 |
| 日本 | 523.55 | 1.3 | ▲0.2 | ▲0.6 | ▲2.1 | 21.4 |
| 香港 | 557.74 | 3.4 | ▲0.1 | ▲18.8 | ▲20.5 | ▲33.9 |
| シンガポール | 665.97 | 4.2 | ▲2.9 | ▲4.9 | ▲4.3 | ▲6.6 |
| オーストラリア | 948.27 | 3.8 | 1.1 | ▲0.5 | 5.0 | 7.5 |

| 為替(対円) | 先週末 | 騰落率(%) | | | | |
|------------|--------|--------|-----|-----|------|------|
| | | 週間 | 3ヵ月 | 6ヵ月 | 1年 | 3年 |
| 米ドル | 149.63 | ▲1.2 | 2.6 | 8.7 | 6.7 | 43.6 |
| カナダ・ドル | 109.04 | ▲0.6 | 1.3 | 6.6 | 3.7 | 37.2 |
| ユーロ | 163.27 | 0.8 | 3.0 | 9.4 | 12.4 | 32.1 |
| 英ポンド | 186.46 | 0.7 | 0.3 | 8.4 | 12.1 | 35.1 |
| 香港ドル | 19.19 | ▲1.1 | 3.0 | 9.2 | 7.1 | 42.8 |
| シンガポール・ドル | 111.35 | ▲0.0 | 3.7 | 8.5 | 9.2 | 43.5 |
| オーストラリア・ドル | 97.48 | 1.1 | 4.4 | 6.3 | 3.9 | 28.2 |

※為替の騰落率がプラスの場合は各通貨高、マイナス(▲)の場合は円高
 ※為替レートは、原則としてニューヨークの17時時点のものです。

- 当資料中のREIT価格については、S&P REIT指数のグローバルおよび各国・地域別指数(現地通貨ベース・トータルリターン)のデータを使用しています。各指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、その提供元に帰属します。
- ラサール インベストメント マネジメント セキュリティーズからの情報および信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成
- 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。